

認知症作業療法 活動報告（概要）

新潟県作業療法士会では、認知症初期集中支援チーム、認知症予防事業、認知症カフェ、認知症サポーター養成講座などに参加している。**2014年**のパイロット事業「認知症サポーター養成講座を通じて行う作業療法啓発活動の展開」では県、市町村、地域包括支援センターなどにも周知を行った。以降、市町村、地域包括支援センターなどから依頼を受けサポーター養成講座、認知症カフェなどを中心に活動を行なっている。県士会への依頼、派遣という形ではなく、各施設・事業所、個人への依頼で活動しているため、正確な実施数の把握はできない。認知症関連事業で活動している会員に対して、認知症作業療法研修を**2016～2017年度**に認知症アップデート研修、**2018年度**は認知症応用研修を企画実施した。

県内**30**市町村を**38**地区に分け、各地区に地域支援事業関連の窓口を設置し対応している。また、リハ**3**職種で協議会を設置し、協議会を通じての依頼にも対応している

認知症予防事業

市町村、地域包括支援センターなどから介護予防活動として依頼を受け、地域の集いの場やサロンなどで認知症予防教室などを実施している。県士会が仲介する場合もあるが、地域内での依頼・実施となっていることも多く、認知症に限った実施数の把握はできていない。内容は、地域住民に対して、認知症の理解と予防に関する講話、体操などを行っている。



認知症カフェ事業

市町村、運営ボランティア団体や地域包括支援センターからの依頼、情報提供を受け、各地区で認知症カフェに参加しており、認知症理解のためのミニ講話や予防講話・体操、家族の介護相談などを行っている。参加の形態としてはボランティア参加が多く課題も残る。**2018年度**の実施報告は**5**地区（延べ**67**回）



認知症初期集中支援事業

主に認知症疾患医療センターの事業として県内の数施設で初期集中支援事業の実施しているが、**OT**の参加状況、頻度、内容などについては情報把握が難しい状況がある。**2018年度**の実施報告は**1**地区（延べ**20**回/年）であった。

認知症キャラバンメイト（サポーター養成講座）

2014年パイロット事業「認知症サポーター養成講座を通じて行う作業療法啓発活動の展開」以来、多くの会員が市町村、地域包括支援センターなどから、依頼、紹介を受け、自治会、学校、企業などでサポーター養成講座を行い、認知症の人支援の啓発活動を行っている。実施数未把握



今後の展開

- ・ 認知症研修体系の整備
- ・ 地域のニーズに即した、人材育成
- ・ ブロック化による地域でのネットワークづくりによる情報共有と研鑽